

自主防災会だより

発行者：東生駒南自主防災会
発行日：令和3年 12月1日

第25号



生駒市総合防災訓練への参加

11月14日、日曜日に、生駒市総合防災訓練が生駒東小学校でありました。

今年は、生駒市と自治連合会が共催で訓練を実施しました。市災害対策本部と避難所との防災行政無線を利用した情報伝達訓練をするとのことで、前もって班の被災状況を記入する表が配られていました。当日朝8時半に防災スピーカーで地震防災訓練の放送が流れ、東地区連合自治会主催の訓練が開始されました。各自治会からは数名の班長が参加しました。



東地区連合自治会に所属する中の12の自治会の班長が、地震発生後の状況を東小に報告しに集合し、それぞれ前もって配られていた班単位の名簿をもって状況報告を行いました。

名簿の情報を記載した後、運動場にある防災用水を見学し、災害時の応急給水活動について生駒市の職員から説明を受けました。この際、職員より公の給水活動による供給には限界があるので、普段から飲み水の備蓄や、災害時直後の水が出る間に浴槽等への貯水の必要性の話がありました。



次に小学校の防災備蓄倉庫の見学をし、一覧表を見ながらその内容についての説明がありました。その後、体育館の入り口にある防災無線を見せていただき、実際にどのようにして受信するのかの説明を受けました。この電源は常に入った状態にする必要があり使用後も切らないようにとの話がありました。



最後に体育館でグループごとの反省会がありました。そこで出された意見として、「災害時に各自治会の全班長が個々に状況報告をしに来るのは無理があり、ここでは避難所を利用する人たちの受付名簿作成が優先されるべき」「避難所に来た人の受付・誘導の在り方は人を配置するだけでは分かりにくいので、看板や矢印など目で見て分かりやすいものを設置する」等が出されました。避難所運営の在り方には、課題が山積していることが分かりました。



東生駒南自治会の防災訓練

11月20日、土曜日に当自治会の防災訓練が実施されました。

今年は、昨年に引き続き、新型コロナウイルスの流行により、防災訓練では毎年行われている「情報伝達訓練」のみが行われました。

情報伝達訓練とは、自治会員の皆さんに『だいじょうぶ目印』を玄関ドア又は郵便受け近くに掲示し、班長さんがそれを確認、その結果を災害対策本部(自治会館)まで報告する、というものです。

平成24年から防災訓練の前に行われている班長説明会は、2年続けてコロナ禍で中止となり、班長さんたちにはその資料のみの配布となりましたが、8年目ということもあり、混乱もなく、高い参加率をもって執り行われました。

当日10時半から班長さんによる担当区域内の目印の集計結果の受付を行いました。結果は以下の通りでした。

- 『だいじょうぶ目印』掲示あり ……474戸
- 班長さんの対策本部への報告 ……64班

自治会員さんの参加率は68%、班長さんの参加率は96%でした。

この数字には表れていませんが、掲示の無いお宅に班長さんがお声をかけて在宅を確認し、参加していただいたところも多数ありました。ご参加いただいた自治会会員の皆様と、事前広報等ご尽力いただいた班長さん評議員さん等役員の皆様に、心よりお礼申し上げます。

昨年は設置を見送ったテントを、今年は例年通り自治会館の入り口の横に設置し、受付をしました。ここ数年実施してきたアルファ米の試食は今年も昨年同様見送りましたが、生駒市より配布された非常食用乾パンを、来ていただいた方にペットボトルのお茶と共にお配りしました。



受付で班長さんに結果を記した班の地図を提出していただき、防災会の役員が大きな自治会全体の地図にその結果を記入していきました。

災害発生時には、班長さんからの現況を示したこれらの地図による情報は、自治会全体を示す地図に記され、全体の被害情報の把握に役立てられます。班長さんならではの細かい住民情報(高齢者や幼い子

の情報の情報等)も災害時には提供されることによって、公共機関への救援・救護の要請を迅速に行うための情報収集地図の作成が行われます。

このように、災害時には班単位の情報が災害対策本部に集められ、全体の情報になりますので、災害時にはまず班単位で動いていただくことを、この訓練を通して認識していただければと思っています。

